

「シリーズ平和教育学」オンライン講座

(2024年7月)

- 元京都教育大学教員 村上登司文

【講座の概要】

- 世界各地で紛争や戦争が続き、平和の問題を子どもたちと一緒に考えることが重要となっています。一方、戦争体験者が減少する中で、平和教育の実践を若い人々に伝えることも必要となっています。
- 平和教育の実践方法を考えるためには、平和教育とは何かの実態を明らかにし、平和教育の理論的研究も進めていくことが必要です。そのために、2023年7月より、「シリーズ平和教育学」オンライン講座を開催しています。

2024年7月の実施テーマ

- 7/5 地方自治体による平和啓発と学校の協同
- 7/12 昔と今の平和教育者
- 7/19 平和教育への公的な支援・支持とは
- 予備日の7/26

【受講対象者】

- 平和教育に関心がある学生、学校教員、元教員、社会人など

【講座の受講方法】オンライン配信：Zoomによるオンライン講座（約1時間）を行います。前半の30分は村上がプレゼンし、後半の30分は受講者との対話（質疑応答）の予定です。

昔と今の平和教育者

○「内容紹介記事」から

- 日本の平和教育は、第二次大戦の戦争被害体験である広島・長崎の被爆体験や、沖縄の地上戦体験、都市への空襲体験を学ぶだけでなく、平和を創ることも教えてきた。
- 被爆教師は、広島や長崎での被爆体験を通じて平和教育に取り組み、平和の大切さを伝える平和教育者の存在であり、平和教育の礎となった。
- **日本の**平和教育者たちが、今までどのように形成され、何をなし、どこに向かうかを考える。

○今日の目次

- ①平和教育者の形成
- ②平和教育者へのインタビュー：平和教育史資料
- ③学生の平和教育への問い：卒業論文より
- ④若手教員の平和教育実践を規定する学校要因
- ⑤平和教育の実践者を増やすには

1. 平和教育者の形成

- 「平和教育者の形成について教えて」 AIのCopilotに対して
- 平和教育は、戦争の非人間性や残酷さを理解させ、戦争の原因を科学的に認識し、軍備撤廃や新国際秩序の創造に向けた力を育む教育です。日本国内では広島・長崎の被爆体験や沖縄戦、日本国憲法の平和主義などが特色です。
- しかし、平和教育の展開には国際化への意識も必要であり、世界的な平和教育の事例も多様です。米国の平和教育学者は「包括的平和教育」を提唱しており、紛争解決教育や人権教育、環境教育などを包括的に取り入れています。
- また、オンライン情報の真偽を検証する情報リテラシーやプロパガンダを読み解くニュースリテラシー、市民社会への参加を通じたメディアリテラシーも重要です。日本国内の平和教育は低迷している面もあり、学問的な検証や社会科学のアプローチの強化が求められています。

図1 第二次世界大戦継承のエージェント

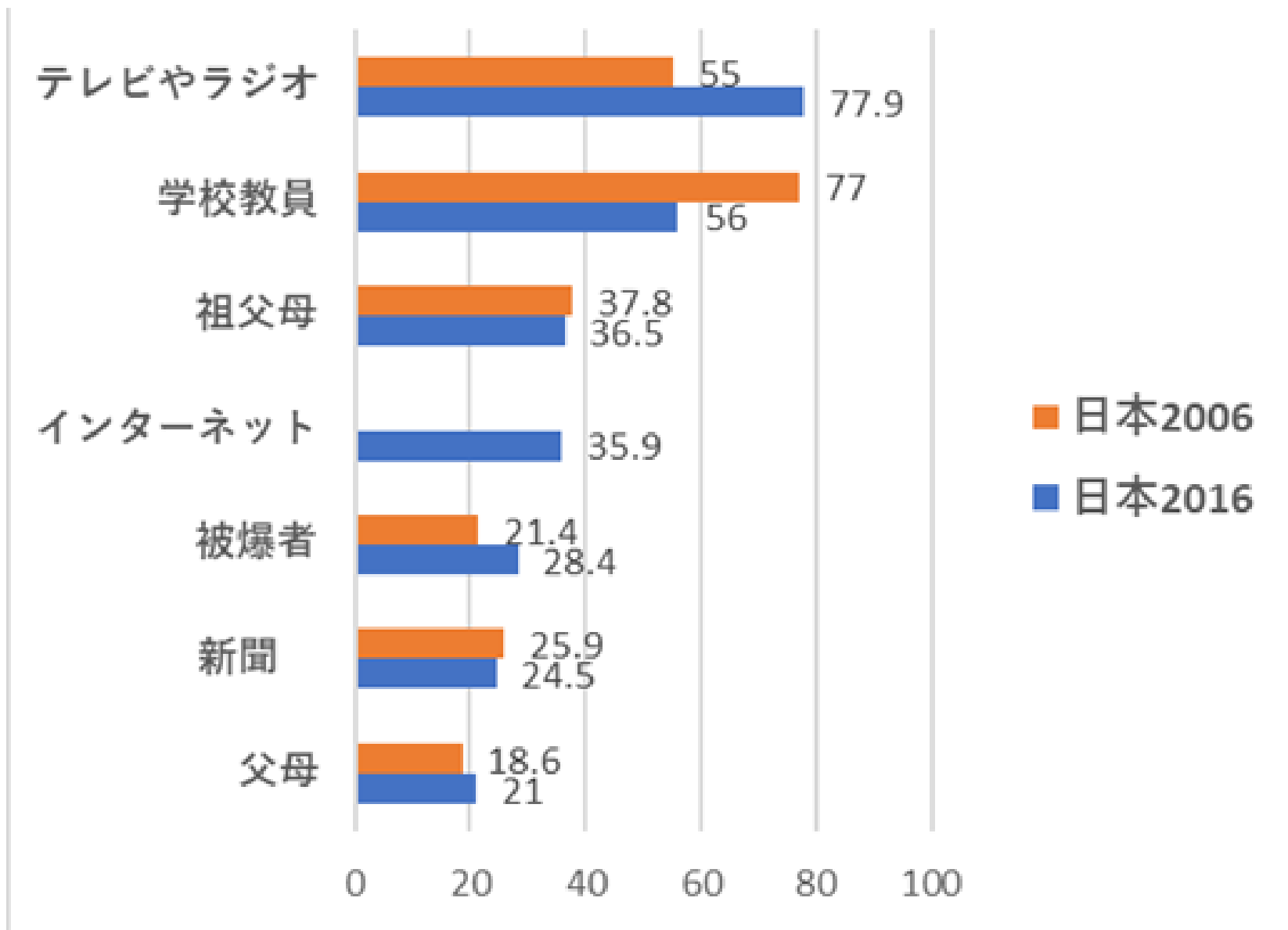
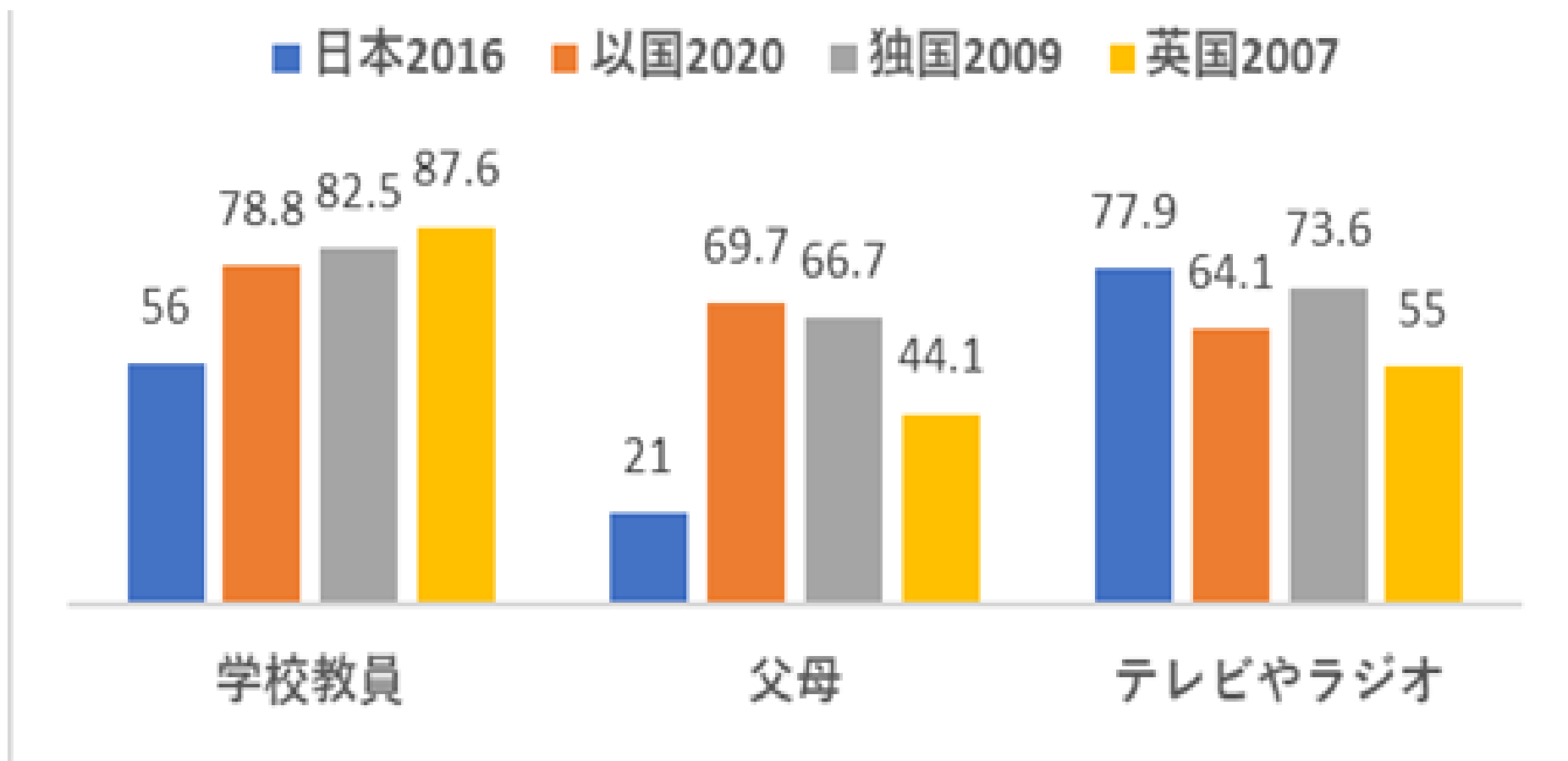


図2 国別第二次世界大戦継承のエージェント



2. 平和教育者へのインタビュー：平和教育史資料

2024年「ヒロシマ平和教育アーカイブ」広島大学EVRI制作

- 10名のヒロシマの平和教育者
- 生年、生誕地、職業、教科
 - Q1 教職志望動機
 - Q2 私の教育実践
 - Q3 広島を教えるにあたって
 - Q4 広島の平和教育とは
 - Q5 メッセージ

ヒロシマ平和教育者 【戦前生まれ】

| 撮影 FileNo | 名前 | 生年 撮影時歳 | 生誕地 | 職業 | Q2私の教育実践 | Q4広島での平和教育とは |
|--------------|------|----------------------------|-----|------------------------------|---|---|
| 2022 7 | E.Y. | 1927 (94) 1949-87 | 福山市 | 元中学校 教諭（音 楽） | 『ひろしま』や、 カリキュ ラム の作成。 | ヒロシマの平和教育は 広島平和 教育研究所 を牽引役として全国 に広がった。 |
| 2020 1 | M.H. | 1930 (90) 1952- 90 | 広島市 | 元高等学 校教諭 （書道） | ケロイドを持ち、原爆につ いて語ることを一時躊躇し たが、生徒から背を押され る。高校生に 平和意識調査 （広高教組）を継続実施。 | 広島では、原爆が 平和教育のス タート にある。 被爆者を世界に 派遣 していく活動を進める。ト ルーマン大統領とも会う。 |
| 2021 5 | K.F. | 1939 (82) 1961-99 | 広島市 | 元小学校 教諭・校 長（専門 は国語） | 指導主事 の時は、子どもへ の接し方を重視。 組合は日 の丸、残酷な日本兵を教え る、と批判。 | 広島は原爆を落とされた土地で、 親や学校から被爆について教え られる。 |
| 2022 9 | M.H. | 1943 (79) 1965- 2003 | 呉市 | 元高等学 校教諭 （数学） （呉市） | 当時 組合活動が盛ん 。熱心 な先生が身近にあり、HR活 動で、全国教研で3回発表。 明治図書から『みんなで 作った青い空』1979に出版。 | 平和教育の 後継者がいなくなる 。 組合活動の後退 。若い教員を 誘っても断られる。幸せな生活 （平和な生活）をするために 公 害にも向き合う 。 |

ヒロシマ平和教育者 【戦後生まれ】

| 撮影 FileNo | 名前 | 生年 撮影時歳 | 生誕地 | 職業 | Q2私の教育実践 | Q4広島での平和教育とは |
|--------------|------|-------------------------------|-----|-----------------------------------|--|---|
| 2022 8 | O.T. | 1948 (73) 1970- 2008 | 広島市 | 元小学校 教諭 | 新任先で組合（日教組）をつくる。歴史と平和を考える。 歴教協 で実践報告。 | 原爆1つでなく、国際交流も大事。エスペラントを通じて、子どもたちが海外と交流。 |
| 2020 2 | T.S. | 1950 (70) 1972- 2010 | 呉市 | 元私立中 学校・高 等学校教 諭（地 理） | 私立中高（ノートルダム清心）で平和教育のカリキュラムの作成 を任された。地理では、フィールドワークを重視。 | 被爆者は当事者として、辛い体験を 簡単に語れない 。 共感者 がいれば話してくれる。辛い人の責任は、非当事者側にある。 |
| 2021 4 | M.H. | 1954 (67) 1976- 2014 | 広島市 | 元中学校 教諭（数 学） | <u>見つけた学籍簿を？</u> 、生徒が町内会長に調査、「 原爆犠牲者の20万人の顔 」を集める。三光作戦の学習をする。校内暴力のない学習を。 | 原爆が大前提。命を大事にする教育に結びつく。人権や生きる力、問題解決の力を育成する。 |
| 2021 6 | H.K. | 1959 (62) 1981- 2019 | 広島市 | 高等学校 教諭（美 術） | 就職後、人に資料を渡されて平和教育を始める。広島中心の内容だったが、世界情勢についても含む必要がある。 NHK「太平洋戦争」 を短縮編集して生徒に見せた。 | 被爆地広島だから意識の高い人が多い。絵の制作が「広島だからできる」と言われるが、広島でなくてもできるのでは。 |

ヒロシマ平和教育者 【1970年以降生まれ】

| 撮影 FileNo | 名前 | 生年 撮影時 歳 | 生誕 地 | 職業 | Q2私の教育実践 | Q4広島 の平和教育とは |
|--------------|------|--------------------------------|----------|------------------------------|---|--|
| 2022 10 | A.A. | 1970 (51) 1992- *2030 | 浜松 市 | 小学校 教諭 (関心 は社 会) | 広大院で国際理解教育を研究。静岡の小学校で勤務後、国際協力でパラグアイの教員養成の支援。国際理解教育の原点が平和教育。 | 広島の先生は、DVDを見て、体験を聞いて、感想を書かせて、それで終わり、が多い。子どもが平和とは何かを考える、そのきっかけを与える実践を行った。 |
| 2020 3 | N.S. | 1992 (28) 2014- *2052 | 鹿児 島市 | 小学校 教諭 (関心 は社 会) | 子ども中心の平和教育で、子どもが五感で感じることができ、自分なりの考えを持って、それを表現できる | 広島はプログラムがあり、平和教育の仕組みが整っている。ヒロシマについて学ぶことが平和教育と捉えられている。 |

3. 学生の平和教育への問い：卒業論文より

- 分析視点
- 京都教育大学の教育社会学研究室に提出した卒論の中で、平和教育に関する研究を行った論文を抽出。
- 卒論題目
- 平和教育に関心を持ったきっかけ
- 卒論を書く研究目的は
- 平和教育をどのように考えるか

平和教育の題材で提出された卒論題目

| | 提出年度 | 卒論題目 |
|----|--------|---------------------------------------|
| 1 | 2003年度 | これからの平和教育－子どもの平和的態度の形成から－ |
| 2 | 2004年度 | ホロコースト教育の意義と現状－日本におけるホロコースト教育のあり方を探る－ |
| 3 | 2009年度 | スポーツ活動におけるフェアプレイの精神と平和意識の形成 |
| 4 | 2009年度 | 児童の平和意識の形成や主体的行動につながる平和教育 |
| 5 | 2009年度 | 日本とアメリカの原爆観の相違から考えるこれからの平和教育 |
| 6 | 2012年度 | 北方領土問題を小学校でどう教えるかについての考察 |
| 7 | 2013年度 | 国語科における平和教育－読み物教材を利用した平和教育の指導方法－ |
| 8 | 2014年度 | 学校教育がつくる日の丸・君が代観 |
| 9 | 2015年度 | 戦後70年に沖縄戦の伝え方を考える一次世代にどう継承していくか－ |
| 10 | 2015年度 | 時事問題を活用する平和教育 |
| 11 | 2016年度 | 学校教育における平和教育の継続的な実践についての考察 |
| 12 | 2018年度 | 政治参加のための思考力と行動力の基礎を養う小学校での平和教育の考察 |
| 13 | 2019年度 | 平和教育の現状と教育大学における平和意識の形成 |

4. 若手教員の平和教育実践を規定する学校要因

図3 修学旅行の行き先の影響

表 頭 (X軸) No. 17 若い教員の平和教育実践への関心 <S A> 4カテゴリ
 表側 1 (Y軸1) No. 2 修学旅行先 <S A> 7カテゴリ

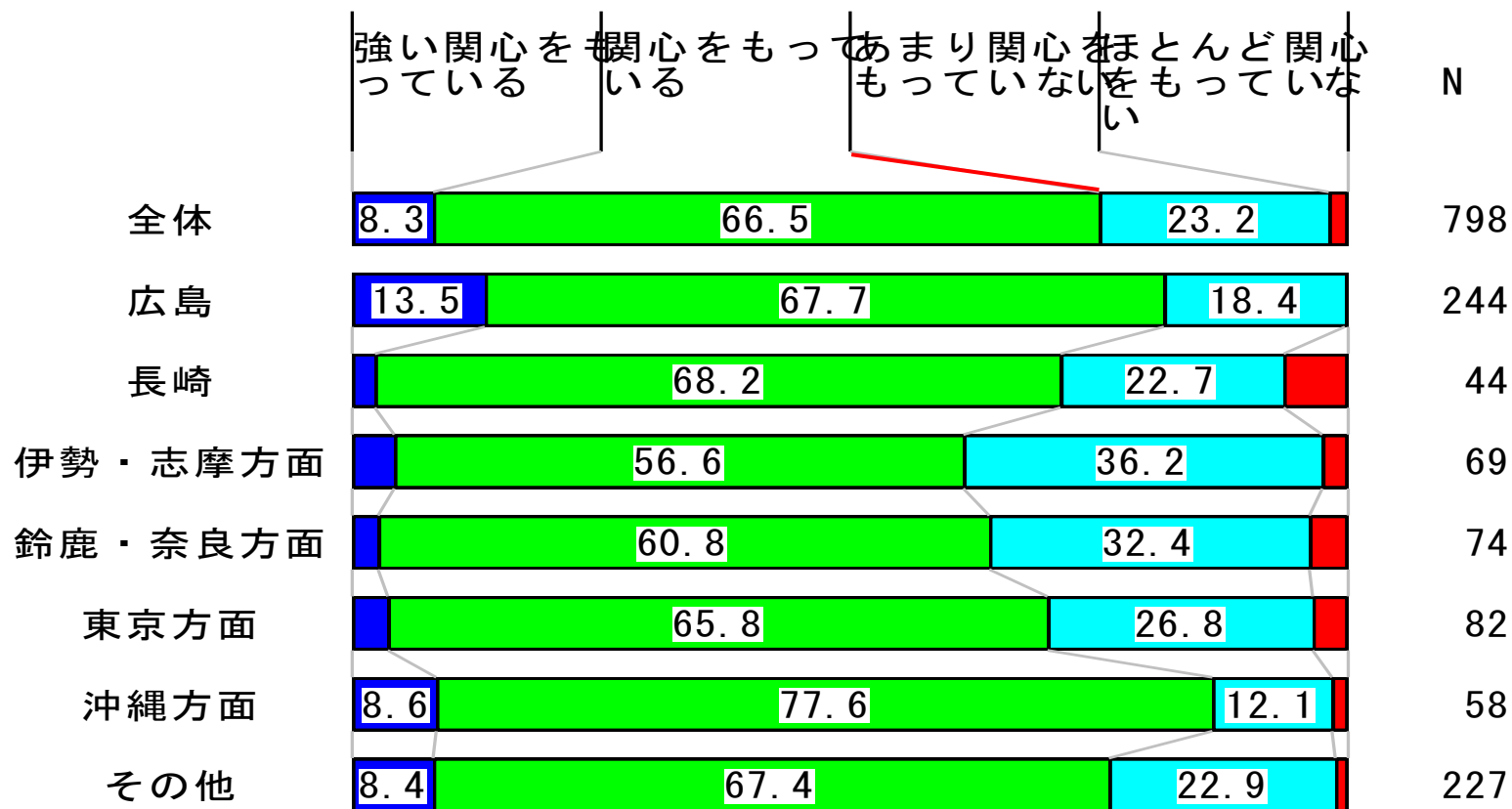


図4 年間カリキュラムの有無の影響

表 頭 (X軸) No. 17 若い教員の平和教育実践への関心 <SA> 4カテゴリ
 表側 1 (Y軸1) No. 3 年間カリキュラム <MA> 5カテゴリ

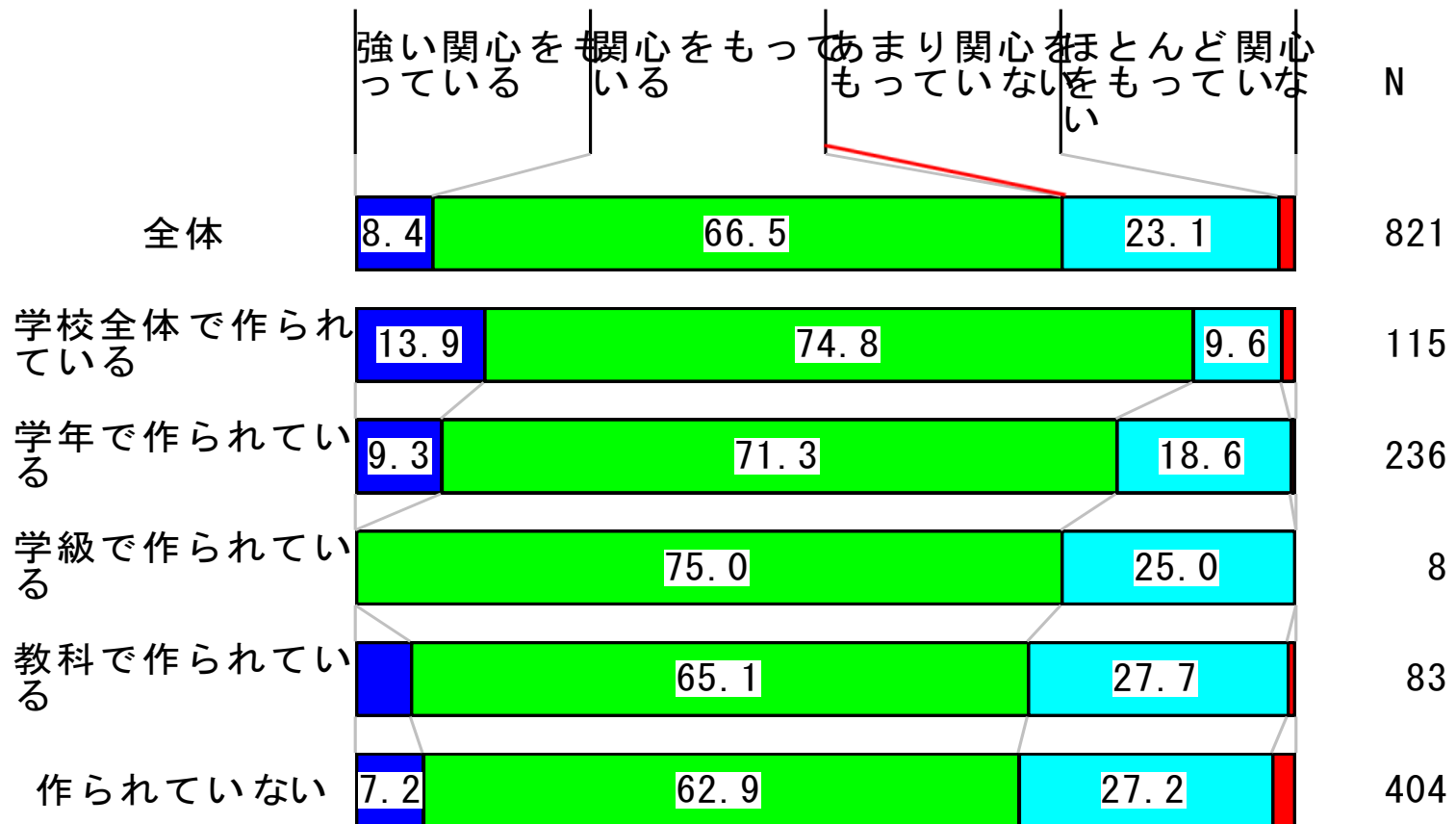
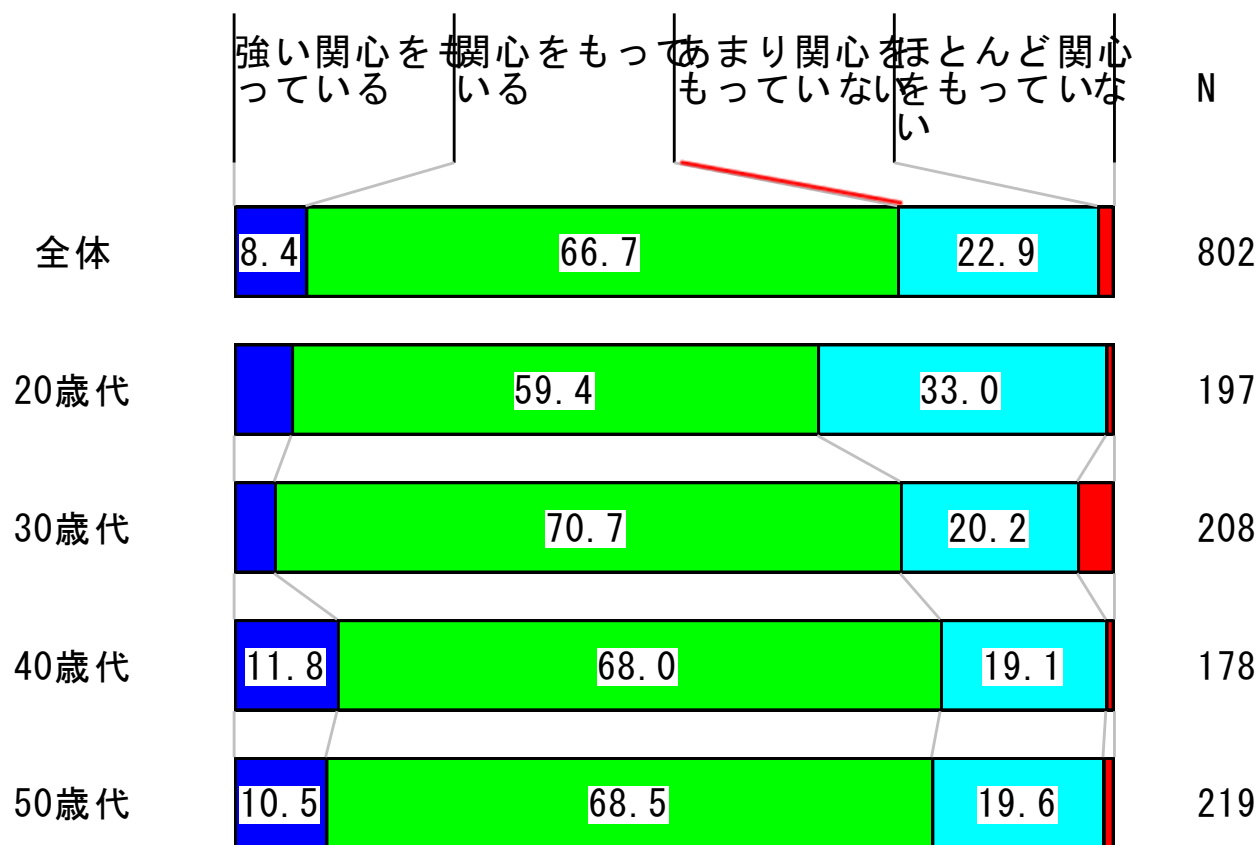


図5 勤務校の教員の年齢層が及ぼす影響

表 頭 (X軸) No. 17 若い教員の平和教育実践への関心 <S A> 4カテゴリ
 表側 1 (Y軸1) No. 16 学校教員の年齢層 <S A> 4カテゴリ



5. 平和教育の実践者を増やすには

- 広島・長崎・沖縄への修学旅行
- 平和教育カリキュラムの作成（学校、学年、教科）
- 平和教育実践の引き継ぎ
- 平和教育の教員研修の実施
- 初任者研修
- 平和教育者の交流
- 「平和教育者アーカイブ」の利用
- 「平和教育」の授業の開講
- 平和教育の卒論指導

- オンライン「シリーズ平和教育学」